

あごのX線写真で測定

兵庫の歯科医 ソフト開発

骨粗しょう症早期発見に光

骨密度

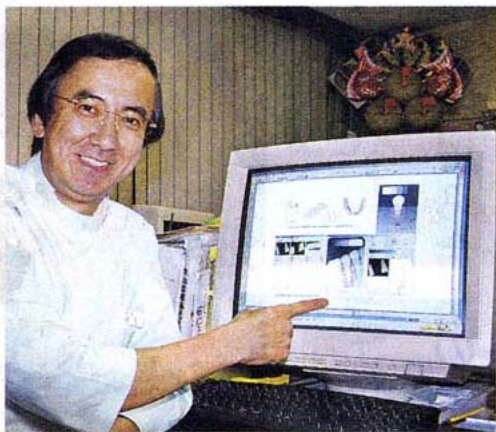
全国で約千二百万人の患者がいると推定されている骨粗しょう症で、兵庫県姫路市の歯科医高石佳知さん(五十)が、あごの

エックス線写真を活用した早期発見ソフト「簡易骨密度測定システム」を

開発した。

大阪市立大医学部の三木隆己教授は「過去にない斬新なアイデア。医療効果が示されれば爆発的に普及するのではないかと評価。高石さんは「ことしはこの分野に新しい光が差す年になるだろう」と話している。

日本と米国で特許を申請中で、国内企業数社が年内の実用化を検討して



いる。

歯科の診察に使うあごのエックス線写真をパソコンに取り込み、その明るさを測定することで、歯を支える骨の密度を数値化することに成功。撮影から診断まで五分程度で骨密度が判明する。腰やかかとのエックス線写真を使う従来の方法よりも、時間がかからず、コストも節約できるという。

「簡易骨密度測定システム」について説明する歯科医の高石佳知さん＝兵庫県姫路市